

受賞者紹介

塚田さんは、平成9年に下妻市公平委員会の委員に就任し、平成25年に下妻市及び下妻地方広域事務組合公平委員会委員長として退任されるまで16年の長きにわたり職員としての保障や公平な人事行使に貢献されたことが認められました。



塚田 勇さん
(長塚)

全国公平委員会連合会特別表彰

栗原さんは、平成2年に下木戸代表区長兼自治区長に就任し、平成21年には茨城県自治会連合会長・全国自治会連合会理事を歴任され、平成25年に下妻市自治区長連合会長として退任されるまで22年の長きにわたり行政とのパイプ役を務め、また自治会活動の活性化に貢献されたことが認められました。



栗原 忠夫さん
(下木戸)

総務大臣表彰

生命の尊重

ミュージカルで自殺防止を訴える
心に響く音楽劇「GIFTをあなたに」を上演

自殺対策に取り組む市は12月6日、クリスマスの物語を通して、自殺防止を訴えるミュージカルを、市民文化会館で開催し、市内小中学生の親子など約800名が歌や劇を熱心に鑑賞しました。

「GIFTをあなたに」の物語は、夢を追い続ける3人の若者が、急きょサンタクロースの助手を務めることになり、子どもたちにプレゼントを配って街を回る途中で、仕事に悩んで自殺を図ろうとする親友の女性教師を見つけます。サンタの助手となった3人は女性教師には見えませんが、歌の力で必死に自殺を止めようと、最後に女性教師はナイフを手から離して生きる力を取り戻します。

40歳代の母親は「歌と劇に感動しました。子どもには夢をあきらめず、叶えてあげられるように心掛けない」と話していました。



素晴らしい歌声を披露し、「命の大切さ」を伝える俳優たち

地域活性化

宝くじ助成事業でコミュニティ
活動を推進 -樋橋新田自治会-

樋橋新田自治会では、平成25年度の宝くじ助成を受けて建設した公民館が完成し、12月1日に地区住民など約40名が参加して盛大に竣工式が行われました。

式典で、稲葉市長は「樋橋新田自治会の皆さまの努力が報われ、こうして立派な公民館が竣工しました。地域の絆を深める拠点として大いに活用され、素晴らしい地域となりますよう願っています」と挨拶しました。式典参加者からは、「公民館がきれいになり、これまでなかったトイレが設置され、調理室も整備されるなど、公民館が便利になって大変良かった」と喜びの声が聞けました。

この助成は、宝くじの社会貢献事業としてコミュニティ活動に必要な施設、備品等を整備するために行われるもので、これまで以上にコミュニティ活動の活性化が期待されます。



木造瓦葺平屋建て、床面積は57.55平方メートル

教育の充実・人権尊重

「第31回下妻市教育振興大会」「下妻市人権教育講演会」を同日開催

一人一人を生かす教育の充実を図る「第31回下妻市教育振興大会」と、人権尊重の精神を育む「下妻市人権教育講演会」を12月8日、市民文化会館で開催し、教育関係者や市民約500名が参加しました。

教育振興大会では、青少年の健全育成を柱とする大会宣言を参加者一同で唱和した後、市の教育振興に尽力された29名の表彰を行いました。

また、今回で2回目となる「いじめ防止」に関する標語において、最優秀賞者2名を表彰しました。この標語は、児童生徒がいじめ防止に向けて標語を作成することを通じ、いじめの問題を考え、いじめを許さない心を育てることを目的としたものです。



受賞者の伊藤さん(左)と竹内さん(右)

■「いじめ防止」に関する標語【最優秀賞】

- 思い出に いじめの光景 いらないよ
大形小学校4年 伊藤 子貴
- ネットでは 小さな一言 大きな問題
千代川中学校1年 竹内 柚生

人権教育講演会では、茨城大学生涯学習センター准教授の長谷川幸介先生と、元茨城大学講師で、江戸文化・江戸しぐさ研究会を主宰する外岡仁先生の両氏により「人は一人では生きられない」～【人権】は幸せの装置～というテーマで講演が行われました。

長谷川先生からは、人間の誕生という「生物学的な面」や、家庭・地域という「社会的な面」から、人は一人では生きられないのでみんなで支え合って生きることが大切であるという、身近なことと人権教育を結びつけた話がありました。

また、外岡先生からは、江戸の町で日本中から集まったさまざまな人が気持ちよく生活するための知恵である「江戸しぐさ」の話があり、両氏の話から参加者が自らの子育てや地域での役割、人とのつながりや絆などを改めて考えることができました。



優しい語り口で講演する外岡先生(左)と長谷川先生(右)

安心・安全なまちづくり

下妻小学校北校舎と騰波ノ江小学校校舎の耐震補強・改修工事が完成

昭和53年に建設された下妻小学校北校舎と騰波ノ江小学校校舎の耐震補強・改修工事が、このほど完成しました。

両校の工事は、耐震二次診断の判定結果から耐震不足の解消と、校舎の老朽化に伴う大規模な改修を行うもので、耐震補強工事では校舎の壁に鉄骨ブレースを取り付け、ガラス窓には飛散防止フィルムを設置、大規模改修工事では屋上防水や外壁・内装の改修、トイレのドライ化、高架水槽などの設備改修を実施しました。

市では、児童生徒が安心・安全に生活を送り、非常時には避難所となる学校施設の耐震化を、今後も計画的に進めていきます。



耐震補強や外壁改修された北校舎(下妻小学校)



耐震ブレースで補強された普通教室(騰波ノ江小学校)

有料広告欄

有料広告欄